

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第2区分
【発行日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【公開番号】特開2002-371009(P2002-371009A)
【公開日】平成14年12月26日(2002.12.26)
【出願番号】特願2002-102416(P2002-102416)
【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 38/00
A 6 1 K 9/08
A 6 1 K 47/34
A 6 1 P 35/00

【F I】

A 6 1 K 37/02
A 6 1 K 9/08
A 6 1 K 47/34
A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成16年12月20日(2004.12.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】

G-CSF含有水溶性組成物にポロクサマー407の含量が1～10重量%となるようにポロクサマー407を存在させることを特徴とする請求項6記載の方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項12

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項12】

ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール類がポロクサマー407である請求項9記載の水溶性組成物。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項13

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項13】

水溶性組成物中のポロクサマー407の含量が1～10重量%である請求項12記載の水溶性組成物。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項14

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項14】

G-CSFが配列番号 1 もしくは配列番号 2 で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチドまたはそれらの混合物である請求項 9 ~ 13 のいずれかに記載の水溶性組成物。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

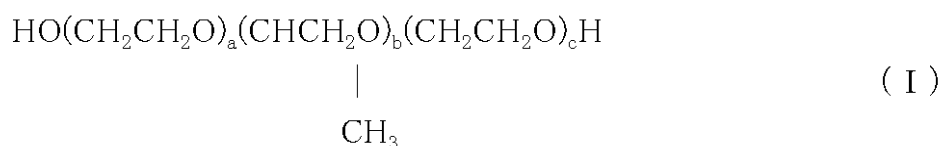
すなわち、本発明は以下に関する。

(1) G-CSF含有水溶性組成物に界面活性剤を存在させることを特徴とする、G-CSFの薬理効果持続時間を延長する方法。

(2) G-CSF含有水溶性組成物に粘度が25~37 の温度範囲において0.5 Pa・秒以下となるように界面活性剤を存在させることを特徴とする、G-CSFの薬理効果持続時間を延長する方法。

(3) 界面活性剤が式(I)

【化3】



(式中、a、bおよびcはそれぞれ正の整数を表わす)で表わされるポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール類である上記(1)または(2)に記載の方法。

(4) ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール類のポリオキシプロピレン部分の分子量が1500~4000の範囲であり、ポリオキシエチレンユニットの数が総ユニットの30~80%である上記(3)記載の方法。

(5) ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール類がポロクサマー188、ポロクサマー237、ポロクサマー238、ポロクサマー338、ポロクサマー403およびポロクサマー407からなる群から選ばれるいずれかである上記(3)記載の方法。

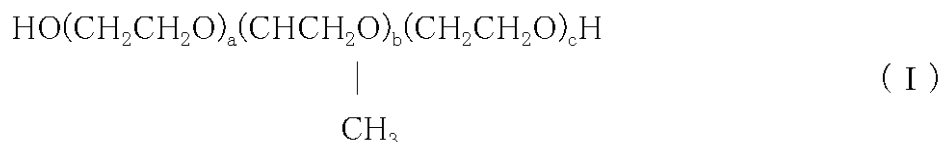
(6) ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール類がポロクサマー407である上記(3)記載の方法。

(7) G-CSF含有水溶性組成物にポロクサマー407の含量が1~10重量%となるようにポロクサマー407を存在させることを特徴とする上記(6)記載の方法。

(8) G-CSFが配列番号 1 もしくは配列番号 2 で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチドまたはそれらの混合物である上記(1)~(7)のいずれかに記載の方法。

(9) G-CSFおよび少なくとも1種の式(I)

【化4】



(式中、a、bおよびcはそれぞれ正の整数を表わす)で表わされるポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール類を含有し、粘度が25~37 の温度範囲において0.5 Pa・秒以下である水溶性組成物。

(10) ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール類のポリオキシプロピレン部分の分子量が1500~4000の範囲であり、ポリオキシエチレンユニットの数が総ユニットの30~80%である上記(9)記載の水溶性組成物。

(11) ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール類がポロクサマー188、ポロクサマー237、ポロクサマー238、ポロクサマー338、ポロクサマー403およびポロクサマ

ー407からなる群から選ばれるいずれかである上記(9)記載の水溶性組成物。

(12) ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール類がポロクサマー407である上記(9)記載の水溶性組成物。

(13) 水溶性組成物中のポロクサマー407の含量が1~10重量%である上記(12)記載の水溶性組成物。

(14) G-CSFが配列番号1もしくは配列番号2で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチドまたはそれらの混合物である上記(9)~(13)のいずれかに記載の水溶性組成物。